

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	南信州山岳文化振興事業
事業主体 (連絡先)	一般社団法人 南信州山岳文化伝統の会 飯田市南信濃木沢811旧木沢小学校
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,443,360 円 (うち支援金: 1,954,000 円)

事業内容

国内屈指のエコツーリズム山岳観光地と新型コロナウイルス感染症に強い観光地の確立

- ・旧遠山森林鉄道の登山道として復旧・整備による国道から入山できる登山環境の整備 (通行止めが常態化している山岳道路の克服)
- ・新型コロナ対策にもつながるレンタルテント・キャンプ場の設置による日本百名山にアプローチしやすい登山環境の整備 (設置地: 面平)



【ファムトリップ (面平)】

【目標・ねらい】

- ①登山道の整備
- ②レンタルテント・キャンプ場の整備

※自己評価【 A 】

【理由】

- ・旧遠山森林鉄道軌道敷の登山道として復旧・整備は登山道としてだけでなく新しい観光スポットともなり二つのツアーが実現、多くの参加者を得た。
- ・ファムトリップのねらいどおり令和3年5月～9月に5件のツアーが企画され、人気が出ている (50人・泊)。
- ・2回のウェビナーはそれぞれ1,400回、4,000回を超える視聴回数となり、全国からの協力者も現れている。

事業効果

- ①南アルプスに国道から入山できる登山道として、全長約10kmの旧遠山森林鉄道軌道敷を整備復旧し、新しい観光の基盤整備ができた。
- ②「面平」に10張りのテントと宿泊できる設備・備品を備えたレンタルテント・キャンプ場を整備し、ここをベースに日本百名山である「光岳」に日帰りできるようになったことで、健脚向きといわれた山域が一般的な登山客でも手が届くものとなった。
- ③「面平」をベースにしたファムトリップ参加者により新たな登山ツアーが企画されることとなった。

今後の取り組み

- 当初の目的を実現するため、飯田市等との関係機関・団体連携を取りながら、令和4年度にはエコツーリズム推進法の枠組みでこのプロジェクトを進めらるるよう準備を整える。
- ①登山道の整備
 - ・日本百名山の一つ「聖岳」への登山道の通行困難箇所を整備する。
 - ・日本百名山の一つ「赤石岳」への登山道の通行困難箇所を整備する。
 - ②第2のレンタルテントキャンプ場の設置
 - ・「聖岳」への中間地点 (西澤渡) にレンタルテントキャンプ場を設置し、アプローチをしやすくする。
 - ③ファムトリップの実施 (聖岳方面)
 - ・上記のキャンプ場を使用したファクトリップに登山ビジネス関係者を招き、登山ツアーを企画してもらう。
 - ④周知動画の作成
 - ・設置した二つのレンタルテント・キャンプ場を使用し日本百名山に登る登山の様子を動画にし、発信する。